

「技研公開 2016」の開催について ～ 進化が続く放送技術を体感 ～

- NHK 放送技術研究所（技研）の最新の研究成果を広く一般に公開する「技研公開 2016」を、5 月 26 日（木）～29 日（日）の 4 日間の日程で開催します。
- 70 回目となる今年は、新たな可能性を開く放送・サービスの創造に向けた 5 つの技術を中心に 27 項目の研究開発成果を展示します。
 - 進化が続く「スーパーハイビジョン」
 - 新しい放送サービスを提案する「インターネット活用技術」
 - 人と社会をつなぐコンテンツ制作技術「スマートプロダクション」
 - 自然な立体映像の実現に向けた「立体テレビ」
 - 最新の研究を支える「次世代デバイス」
- 8 月 1 日に試験放送を開始するスーパーハイビジョンでは、家庭でお楽しみいただくための「シート型の大画面ディスプレイ」の展示など、スーパーハイビジョンの未来像を体感いただきます。また、特殊なめがねを用いることなく自然な立体映像を見ることが出来る立体テレビの実現に向けて、8K パネルを用いて、立体映像をご覧いただける範囲が従来よりも広い「インテグラル立体テレビ」を展示します。
- 毎年お楽しみいただいている 8K の大画面上映や、講演会・研究発表会を実施します。また週末の 5 月 28 日（土）、29 日（日）には、研究員が解説する「ガイドツアー」や、お子さまを対象としたイベントも開催します。

技研公開 2016 <http://www.nhk.or.jp/str/>

【開催期間】 平成 28 年 5 月 26 日（木）～ 29 日（日）
10:00～17:00

【会場】 NHK 放送技術研究所（東京都世田谷区砧）

【入場】 無料

(別紙)

○展示項目一覧

スーパー ハイビジョン	8K HDR ライブ制作
	8K スーパーハイビジョンのフルスペック化に向けた技術
	フル解像度 8K 単板カメラシステム
	アーカイブ用ホログラムメモリー
	3次元音響制作装置
	スーパーハイビジョン衛星放送のケーブルテレビ再放送技術
	超解像技術による 8K・4K 映像符号化システム
	次世代地上放送システム
	MMT による 8K スーパーハイビジョン伝送技術
8K スーパーハイビジョン FPU	
インターネット 活用技術	インターネットで広がる“新しいテレビ体験”を実現する技術
	ライブスポーツ番組におけるハイブリッドキャストの活用
	多様な視聴スタイルに適応する動画配信技術
スマート プロダクション	映像にメタデータを自動付与する文字列検出技術
	CG 共演用スタジオロボット
	気象警報の手話 CG 自動制作技術
	読解支援情報付きニュースサービス
	立体形状を伝える触覚提示技術
立体テレビ	スポーツグラフィックスのための空間情報取得技術
	インテグラル立体テレビ
次世代 デバイス	将来の立体表示用デバイス技術
	次世代イメージセンサー技術
	シート型ディスプレイの要素技術
その他	高速記録を目指す磁性細線メモリー
	NHK 技術の活用と実用化開発の紹介
	スマホ向け放送同時配信サービス
	いよいよ始まるスーパーハイビジョン放送

○講演・研究発表会

5月26日(木) 10:20~12:30

■講演： 東京大学 大学院 情報理工学系研究科 相澤 清晴 教授

「映像×メディア×技術の進展による放送への期待」

■特別発表：NHK放送文化研究所 世論調査部 部長 重森 万紀

「テレビとネット動画、人々はどう使い分けているか ～動画利用の実態と今後～」

■研究発表：3件

- 次世代地上放送の実現に向けた研究開発
- インターネットを活用した新しいテレビ体験の実現を目指して
- インテグラル立体テレビの研究開発